

クラス番号	625	担当教員名	伊藤文人
テーマ	グローバル・ソーシャルワークの可能性を考える		
著書・論文 研究課題等	<p>【研究テーマ】グローバル・ソーシャルワーク研究</p> <p>【著書・論文】伊藤文人（2019）「グローバリズム／ラディカルソーシャルワーク／SWAN」金子光一他編『新世界の社会福祉1 イギリス・アイルランド』旬報社</p> <p>サラ・バンクス／伊藤文人他監訳（2016）『ソーシャルワークの倫理と価値』法律文化社</p>		

ゼミナール概要

キーワード：新自由主義、企業統治体制、世界の商品化、SWAN-I、世界社会フォーラム、アナキズム、

本ゼミでは、「グローバル化した世界」で発生しているグローバルな社会問題（人口爆発、環境破壊、国民国家を陵駕するグローバル企業統治体制による貧富の両極化、管理社会化—ユートピアとディストピアの共存）に、世界各国のソーシャルワークがどのように対峙しようとしているのかを探究します。グローバリズムを理解する上でのキーワードは、グローバル企業（資本）による「世界の商品化」です。本来、医療・社会福祉・ソーシャルワーク・教育などは、資本による暴力（絶えず人々を生存の義務＝労働に追い込みながら搾取を通じて貧困状況に叩き込むこと）から個人・集団・コミュニティの利益（自由と人権）を守るための防波堤として「福祉国家」からほぼ「無償」で提供されていたものです。しかしこの40年あまりの世界の歴史は、それと逆行する形で推移しました。新自由主義（ネオリベラリズム）というイデオロギーが各国でヘゲモニー（覇権）を握り、多国籍企業が最も動きやすい経済の仕組みを作ってきたのです。ここから国家はそれまでの福祉的保護膜を縮小し、「自助努力、自己責任」こそが至高な価値であるとして、多くの人々を貧困のどん底へ叩き込んできたのです。日本では派遣労働に代表される非正規労働の急速な拡大（全就業者の4割で年収は200万円前後）と、本来そうした人々の生活を下支えするはずの各種の社会（福祉）サービスの「有償化」が象徴的な動向です。このことが私たちの将来的な生活にどんな影響を与えるかを想像してみてください。

こうしたグローバル企業（と結託した国家）の動きに対する反対する言説や運動もたくさん出てきています。いわゆる反グローバリズム運動です。企業だけが豊かになる社会ではなく、その土地に住んでいるすべての人々幸せにする経済のあり方、政治のあり方、社会のあり方（「もう一つの世界は可能だ！」）が再考され始めています。そしてそのような中で、ソーシャルワーク専門職が果たす役割も問い直されているのです。本ゼミでは、この動きの一端を、私が関わっているSocial Work Action Network Internationalという運動団体の歴史や実践方法と関わらせて学びます。ここには、イギリス、アイルランド、アメリカ、ブラジル、チリ、スペイン、スウェーデン、ドイツ、イタリア、スロベニア、ハンガリー、南アフリカ、ギリシャ、香港、台湾、日本（担当教員）などが参加しています。「世界を商品化する暴力」から各国はなにを具体的な方法でもって対応しようとしているのか？特にソーシャルワークから貢献できることが何かを考えていくのがこのゼミでの学びの中心です。コロナ禍のなかで海外へ行く機会はまだ得られていませんが、海外（特に台湾）へのフィールドワークも視野に入れながら、世界のソーシャルワークについて学びます。

（前期）グローバル化とは何か？グローバルな社会問題の発生要因についての文献・資料・映像などを通じた思考の輪郭作りをします。渡航が許されるならその準備も並行します。

（夏季）フィールドワークとして台湾の社会福祉関係者や当事者を訪問し、日本との比較を行う学習をします。

（後期）前期の学習、フィールドワークの成果を持ち寄って、ヨーロッパのソーシャルワーク関係者との会合（Zoomを利用）に参加もしながら、「世界の商品化」テーゼに対抗するソーシャルワークのあり方を探究します。

担当教員からのメッセージ

①より広い視野から「世界」の動向を見てみたい、特にグローバル化の名による「世界の商品化」という過酷の事態がどのようなグローバルな社会問題を再生産しているのかに関心がある学生諸君、②そうした問題意識を前提に（環境が許されるならば）海外にも渡航して、世界で起きている／日本でも起こっている【共通した】社会問題に対するソーシャルワークの対応状況を学んでみたい学生諸君、③①と②を達成していく上でも、外国語（英語）の力を「少しは」上達させたいと考えている学生諸君などの積極的な参加を希望しています。上級生メンターによる学習方法（本の読み方、レジュメの作り方、レポートの書き方、プレゼンの仕方）の支援もあるでしょう。海外に行けるなら若干の費用負担も必要になります（去年の実績では4日間で6万円：台湾の場合）。あとは仲良く、一期一会の精神でゼミを盛り上げて行ってください。私もみなさんのお手伝いをさせていただきます。